

令和4年度 第67回沖縄全島エイサーまつりの開催につきまして

新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」）が猛威を振るい、医療や経済をはじめとする国民生活に甚大な影響を及ぼしはじめてから早2年半が経過しております。

この間、様々な文化的行事やイベントの中止に加え、国内外の移動が制限されたこともあり、観光関連産業だけでなく、飲食業界や小売業、地域の商店街などの多くの分野に影響し、日本経済は非常に厳しい状況に追い込まれました。

未だ収束には至っておりませんが、感染拡大防止に対する国民の努力やワクチン接種の推奨、新たな生活スタイルの創出により、少しずつではございますが、明るさを取り戻しつつあります。

コロナ禍の影響により、2回にわたり、中止を余儀なくされた沖縄全島エイサーまつりににつきまして、本まつり実行委員会において、基本的な感染症防止対策を実施した上で、令和4年8月20日（土曜日）「沖縄市青年まつり」と、8月21日（日曜日）「沖縄全島エイサーまつり」を、2日間の日程で開催することといたしました。

コロナをはじめとする厳しい現状において、青年会の活動も影響を受け、例年行ってきた金曜日の「道ジュネー」は中止せざるを得ませんが、多くの市民・県民が沖縄の夏の風物詩である本まつりの開催を待ち望んでいることと思います。

参加される皆さまにおかれましては、日常の体温チェックや、まつり数日前から当日にかけての体調管理、会場でのマスク着用、手指消毒など、基本的な感染症対策を心掛けていただくとともに、ぜひ、ワクチン接種についてもご検討いただきますようお願いいたします。

青年達により地域の伝統として受け継がれてきた、沖縄の旧盆における鎮魂の舞、エイサー。

今日6月13日をもって、本市は「エイサーのまち宣言」から15年目となります。

エイサーのまち沖縄市から、流麗に舞い、踊り、力強く躍動するエイサーが、皆さまを鼓舞し、勇気づけ、コロナの災禍を吹き飛ばすことを祈念いたします。

令和4年6月13日

沖縄全島エイサーまつり実行委員会

実行委員長（沖縄市長） 桑江 朝千夫